

会議録(要旨)

会議の名称	多摩北部都市広域行政圏協議会 令和7年度 第3回協議会
開催日時	令和8年1月30日(金) 午後9時52分から午前10時34分まで
開催場所	多摩六都科学館 2階 201会議室
出席者	小平市 小林 洋子 市長 奥村政策課長 東村山市 渡部 尚 市長(会長) 濱崎経営政策課長 清瀬市 澁谷 桂司 市長(欠席) 小林経営政策部長 東久留米市 富田 竜馬 市長 佐藤企画調整課長 西東京市 池澤 隆史 市長 門倉企画政策課長 東京都 総務局行政部 佐藤多摩振興担当課長 五十嵐課長代理 石堂主事 事務局 東村事務局長 高田次長 藤山主査
議 事	議案第3号 令和8年度多摩北部都市広域行政圏協議会予算の修正について
協議事項	(1) 多摩六都広域連携プラン(第五次多摩北部都市広域行政圏計画)(原案)について (2) 令和7年度 専門委員会の活動報告及び評価について (3) 令和8年度 専門委員会の設置及び付託事項について
報告事項	(1) 令和7年度 多摩六都フェアの開催状況について (2) 施設の広域連携に関する取組について
会議資料	議案第3号 令和8年度多摩北部都市広域行政圏協議会歳入歳出予算(修正) 資料1 多摩六都広域連携プラン(第五次多摩北部都市広域行政圏計画)(原案)について 資料2 多摩六都広域連携プラン(第五次多摩北部都市広域行政圏計画)概要版 資料3 多摩六都広域連携プラン(第五次多摩北部都市広域行政圏計画)(原案) 資料4 令和7年度専門委員会の活動報告及び評価 資料4-2 令和7年度専門委員会活動報告書概要 資料5 令和8年度専門委員会の設置及び付託事項 資料6 令和7年度多摩六都フェアの日程等について 資料7 施設の広域連携に関する取組について
記録方法	発言者の発言内容ごとの要点記録
会議内容	
1 開会	会長挨拶 東京都総務局行政部多摩振興担当課長挨拶

2 議事

議案第3号 令和8年度多摩北部都市広域行政圏協議会予算の修正について

●事務局から、議案第3号により説明

- ・令和8年度多摩北部都市広域行政圏協議会予算の歳入歳出総額に変更はない。
- ・負担金と繰越金を修正した。東京都都市整備局の補助金の見込み額が固まり、繰越金が修正前の180万円から、310万5千円に増となり、これに伴い、負担金の再計算を行った。

—異議なし 承認

3 協議事項

(1) 多摩六都広域連携プラン（第五次多摩北部都市広域行政圏計画）（原案）について

●事務局から、資料1、2、3により説明

- ・名称については仮称でしたものをそのまま使用し、「多摩六都広域連携プラン、第五次多摩北部広域行政圏計画」とした。
- ・表紙について、専門部会で緑の写真を使うのがいいのではとご意見をいただき淵の森緑地の写真のデザインとした。
- ・意見公募の実施結果、応募は4名。Logoフォームでの応募が3名、窓口持参が1名。
- ・寄せられた意見について、取組項目に含まれるものや今後の参考として動向を注視するもの等で、計画の修正や追記となるものはないとした。
- ・今後のスケジュール、審議会へ諮問。2月5日の審議会で答申案の検討、答申を経て、2月中旬に決定、3月下旬に公表予定。

—異議なし 承認

(2) 令和7年度 専門委員会の活動報告及び評価について

●事務局から、資料4、4-2により説明

- ・多摩六都広域連携プランに基づき、5つの専門委員会の本年度の取組状況と評価等をまとめた。

評価のポイントとして

○都市計画専門委員会

- ・都市計画道路の整備促進について、活動報告書やwebサイトに掲載を評価。継続して発信すること。
- ・連続立体交差事業の推進について活動の方向の検討。
- ・鉄道の利便性向上、ホームドア整備等について、情報共有と必要に応じて調査研究等行うこと。

○緑化専門委員会

- ・緑・水辺環境に対する保全意識の醸成についてイベントの開催など、持続的、発展的に事業を推進できるよう検討。
- ・公民連携や市民協働を活用した取組の推進について引き続き情報交換や研究を進める。

○生涯スポーツ専門委員会

- ・多摩六都スポーツ大会「スポーツDX体験会」を実施。今年度得られたデータ等を検証し、今後の大会に生かすこととした。
- ・今年度、屋内スポーツの広域利用状況調査を実施。引き続き発信方法の工夫をするよう記載。

○産業・観光振興専門委員会

- ・多摩観光推進協議会の回遊性イベントは、内容の提案、市報等への掲載の広報協力を行ったが参加者数減もあり、検討が必要。
- ・多摩・島しょ広域連携活動助成金事業について今後の事業検討の本格化するよう記載。

○広域行政圏計画専門委員会

- ・色々な意見や提案をいただき次期プランの計画を作成できた。

—異議なし 承認

(3) 令和8年度 専門委員会の設置及び付託事項について

●事務局から、資料5により説明

- ・既存の4つの専門委員会を継続させる。広域行政圏計画専門委員会は事業完了に伴い廃止。
- ・令和8年度から12年度までの取組の大まかな方向性を次期プランに基づき検討した結果、大きな変更点として緑化専門委員会で「都市農地」に関する記述を削除。農地に関してはほとんどの市で産業所管であることによる。
- ・新たな5年間の取組の大まかな方向性と令和7年度の活動報告及び評価を踏まえて、来年度の付託事項をまとめた。

(西東京市 池澤市長)

- ・専門委員会の付託事項で都市建設専門委員会の中で連続立体交差事業について、鉄道立体化の検討対象区間を含む5区間について各駅におけるまちづくりの取組事例や検討状況について情報共有を行うということと5区間となっているが、令和8年から12年までの大まかな方向性では検討対象区間が3区間となっている。5区間と3区間の違いは何か。

(事務局)

- ・令和8年度の付託事項については事業中の区間と検討中の区間を合わせて5区間としている。

(西東京市 池澤市長)

- ・現在事業中の東村山駅付近と井荻駅、西武柳沢駅間を含めた5区間で、3区間は機運醸成をすることとわかった。

(小平市 小林市長)

- ・緑化専門委員会から都市農地を抜いたという話だが、それを産業振興には入れないで都市農業自体をそもそも検討のところから落とすということか。

(事務局)

- ・産業・観光振興専門委員会ですが構成員が、観光の所管課長でここでの検討も難しいので一旦落とすことにした。

→異議なし 承認

4 報告事項

(1) 令和7年度 多摩六都フェアの開催状況について

●事務局から、資料6により説明

- ・9事業のうち5事業が終了。

→質疑なし

(2) 施設の広域連携に関する取組について

●事務局から、資料7により説明

- ・各市について情報交換。
- ・新規施設として清瀬市の「南部児童館等複合施設」、愛称「まっぼっくる」が2月1日オープン。
- ・共通の課題として財源の問題が大きい。

→質疑なし

5 その他

なし

6 閉会